

田舎に遊びに！ちょっと佐久まで！

田んぼ通信 @ 湯原地区

佐久田んぼオーナー制度

host 湯原岩清水の会



2010.11.20 収穫祭

湯原岩清水の会による農業体験の集大成として、「収穫祭」が行われました。

オーナーたちの集合時間は、いつもよりゆっくりめの午後 1 時。夕方に予定する収穫祭までの間は、ちょっとしたふるさと体験をしてもらう予定です。

まず、先日稲刈りし、脱穀が終わったお米が披露されました。今年の異常気象で、佐久でも不作といわれているお米ですが、実はこの湯原地区だけは例外でした。湧き出る豊富な清水が田んぼに注ぎ込み、その冷たさで稲たちを猛暑から守ってくれたとのこと。大自然の恵みと、オーナーの皆さんの汗と、岩清水の会の皆さんの愛情がたっぷり染み込んだ、とても質の良いお米がとれました。ずっしりと重たいお米の袋を前に、みんな笑顔でポーズ！



さて、まずオーナー一同が向かったのは、地元の農家さんが手塩にかけて育てたりんご農園。雲一つない秋晴れと郷愁ただよう田舎風景の中、歩いて 15 分ほどの散歩を楽しみながら、農園に到着しました。この時期は、ちょうど「ふじ」の最盛期。たわわに実るりんごは、1 本の樹木に 180 個ほどで

す。まるまると真っ赤に育ったりんごをもぎ取り、皮ごとかじりつくと、果汁があふれ出てきます。芯から蜜が広がった自然の甘味を十分に楽しみながら、ご近所やご親戚の分もこの秋の恵みのお裾分けを購入されるオーナーたちでした。

一方で集会所では、今日の収穫祭のメインメニューのひとつ、日本そばの手打ち体験の準備が着々と進んでいました。オーナーたちが集会所に戻ると、早速そば打ち体験を開始。講師は、佐久市役所が誇るそば打ち名人の岩崎副市長です。手慣れた手つきで地元産のそば粉をこね、伸ばし、包丁で切る様は職人顔負け？ 当人は「道具を自慢に來ただけです」と謙遜していましたが、茹でても千切れることのない、立派なそばが打ちあがり、オーナーの皆さんからも惜しみない拍手が送られていました。

その頃子どもたちは、集会所の前で昔ながらの遊びに興じていました。竹を削り、ヒモとゴムで固定しただけの簡単な作りのもの、これは実は、「野菜鉄砲」なんです。畑に余ったダイコンやカブなどを刻んで、鉄砲に取り付けた竹串に突き刺し、目標に向か



って矢のように射ます。田舎のどこにでもあるようなものを使った遊び道具ですが、子どもたちの目にはちょっと新鮮に映ったよう。的を狙って、見事打ち抜くたびに、喜びの雄叫びが上がっていました。日も暮れかけ、あたりが薄暗くなるまで、一生懸命遊んでいました。



すっかり短くなった日が山の向こうに傾き、里山が綺麗な夕焼けに染まる頃、いよいよ収穫祭が始まりました。オーナーを代表して、一番の



年長者の方に乾杯のご発声をいただき、宴が幕を開けます。今日の料理の主役は、もちろんお米。会のお母さんたちが一つ一つ愛情込めて握ってくださったおにぎりが、所狭しとテーブルに並びます。そして、もう一つの主役がおそば。ざるに盛られ、各オーナーの前にたっぷり用意されました。畑でとれた下仁田ネギを薬味にいただきます。ほかに、野菜たっぷりのかき揚げや天ぷら、蒸かしたさつまいもなど、地元で育った元気な野菜たちも食卓を彩ります。

そしてもう一つ、お父さん、お母さんたちは、地元の蔵で造られた地酒もいただきました。丹念に磨かれた米、そして清廉な伏流水で醸された地元で愛される味に舌鼓。半年間頑張ったご褒美ですよ！

宴の途中、柳田佐久市長も駆けつけました。市長としても、初めて実施した事業の中、いろいろと試行錯誤だったことや、行き届かなかった点もありながら、それでも最後まで楽しんでいただいたこと、交流が広がったこと、地域住民の皆さんの元気につながったことに、心からの感謝の念と湧き上がる感動があったよ



うです。宴たけなわの頃には、皆さんとすっかり打ち解けて、昔からの飲み仲間のように杯を重ねていました。

一本締めで収穫祭も無事終了。この後オーナーの皆さんは、近くの宿泊施設に泊まり、深夜にはうすだスタードームで冬空の観望を予定しています。この地域には、JAXA の東洋一のパラアンテナが設置されるほど、空が美しく、空気が澄んだ場所。きっと素晴らしい星の世界を体験できることでしょう。

今回の収穫祭で、今年予定されたメニューはひととおり終わりました。試行錯誤の中、オーナーの皆さんには、ご迷惑をおかけした点もあったかと思いますが、でも、岩清水の会の皆さんの誠意と歓迎の心は十分に伝わったことでしょう。

既に、来年の体験事業に向けて、会では構想を練り始めています。1年目の経験を活かし、改善すべきことは改善しながら、必ずより良い体験事業が行われていくことでしょう。

また春の田んぼで皆さんにお会いできる日を楽しみにしています！今年1年、ありがとうございました！

